

祝 3月29日 飯母橋の開通式の予定です。

開通式を待つ新しい飯母橋



令和5年10月から約2年半かけて架け替えを行っていました飯母橋が遂に完成
します。今まで、ご不自由をおかけして申し訳ございませんでしたが、これからは
また、便利にお使いいただけますので、よろしくお願いします。

地区内に春がきました。



ここと下の写真は楠元中自治会の菜の花と芝さくらです。



旧吉野山駅跡の桜も咲き出しました。



第36回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

三光寺遺跡 ※本によっては三光院と記載される
「三光寺跡記念」碑 『川内市史 石塔編』P106より

(刻銘)
(1)この辺呼び馴(な)れし字名三光と言い其の昔今より三百五十二年即(すなわ)ち天正13(1585)年頃まで当大山氏住宅一帯は禅宗の寺三光寺の有(り)し所に、その頃まで民間毎(ごと)に武門の間に信仰厚き寺なし (2)天正の頃一代の英雄豊臣秀吉は薩摩の島津氏討伐に際し島津藩下に信仰盛なる一向宗あるを知り以て一向宗の僧を道案内としてさしも守り固き薩摩の国に島津勢見張りを逃れて入薩せり後豊臣氏の配下に諸侯中の雄藩主として島津も只一つ一向宗を廃止されし為に藩下一向宗寺残らず焼討ちの災(わざわい)に會(あ)ひ其時三光寺も跡形もなく焼払はれたり(3)以後幾星霜僅かに寺跡として残(り)しは寺門仁王像と二の三の供養塔なり 想(う)に我(わが)仏門に帰依せしもの唯一つの信仰より出し佛への奉仕として此処に記し後代に傳(つた)へんとす

昭和十二年四月八日

紀元二千五百九十七年

建立大山矢七郎 六十五才時

※『川内市史 石塔編』に(補足)として、入来院文書十二代重朝(しげとも)の条に三光寺四反とある。

上記(刻銘)文を(1)~(3)に分けて簡潔に紹介したい。(1)~(3)は茶園が都合上付した。

(1) この周辺は呼びなれた字(地)名を”三光”といい、大山家が住む一帯は352年前、三光寺のあった所。この寺は武士の信仰する寺ではなく、民間(武士以外)人が信仰していた。

(2) 天正年間の英雄豊臣秀吉は、薩摩の島津氏を討伐するために薩摩を攻めた。その際守りを固めていた島津勢の見張りをかいくぐって薩摩に入る時に道案内してくれたのが一向宗の僧だった。その後、豊臣氏の勢力下においてまた島津氏の下でも一向宗の信仰は認めず、一向宗の寺院は焼き討ちされた。三光寺も跡形なく焼き払われた。

(3) それ以降年月は流れて寺跡として残っているのは、寺門にあった仁王像と2、3の供養塔だけである。仏門に従う私が仏への奉仕としてここに石碑を残して後世に伝えたい。

⇒ 建立者の大山矢七郎の親戚にあたる方より一度だけ話を聞く機会があった。矢七郎氏は墓石などを造る石工だったこと。大山家の近くに石切場があったことを話された。

⇒ 豊臣秀吉の島津征伐(天正15=1587年5年8日泰平寺にて降伏:和睦)については、現在、南日本新聞が「探訪 秀吉の道」の題で(随時掲載)連載中です。1/30, 2/6, 2/?, 2/22

3月19日 九州電力送配電さんをお願いして、コミセン周辺部の電線を邪魔する枝を撤去していただきました。

以前からお知らせしています通り3月31日をもちまして、デマンドタクシーが終了となります。つきましては、タクシーチケットをお持ちの方で期限までに利用されるご予定がない場合は、払い戻しを行っていますので、コミセン窓口まで未使用のチケットをお持ちください。特に、支払い期日の締め切り日は現在は設けていませんが、なるべくお早目に対応していただければ、幸いです。よろしく願いいたします。



撤去した木の枝の下にある万両も

元気に育っています。

1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

さようなら デマンドタクシー
令和8年3月31日終了



平佐東地区
コミュニティセンター
TEL 29-2056

3月 29日(日) 飯母橋 開通式
4月 4日(土) コミ協会計監査
9日(木) 平佐東小入学式
役員会
運営委員会
コミ協総会
23日(木) 狂犬病予防接種

☆ 4月慰霊碑掃除当番 …戸田自治会